

平成28年6月7日

国土交通省道路局

付加車線設置の検証路線の選定について ～高速道路の暫定2車線区間のサービス向上～

高速道路の暫定2車線区間における付加車線設置検証路線として、下記の4路線を選定しましたので、お知らせします。

<検証路線>

- ・ 東海北陸道（飛騨清見IC～小矢部砺波JCT）
とうかいほくりく ひだきよみ おやべとなみ
- ・ 岡山米子道（賀陽IC～北房JCT、蒜山IC～米子IC）
おかやまよなご かよう ほくぼう ひるぜん よなご
- ・ 徳島道（徳島IC～川之江東JCT）
とくしま とくしま かわのえひがし
- ・ 松山道（松山IC～大洲IC）
まつやま まつやま おおす

- これまで、社会資本整備審議会道路分科会において、高速道路の暫定2車線区間の付加車線設置について設置基準（案）をご議論頂いたところです。
- 今後、設置基準（案）に基づき、これら4路線で付加車線を試行設置し、その効果を検証することで、高速道路の暫定2車線区間のサービス向上（安全性、走行性の確保）に取り組んで参ります。

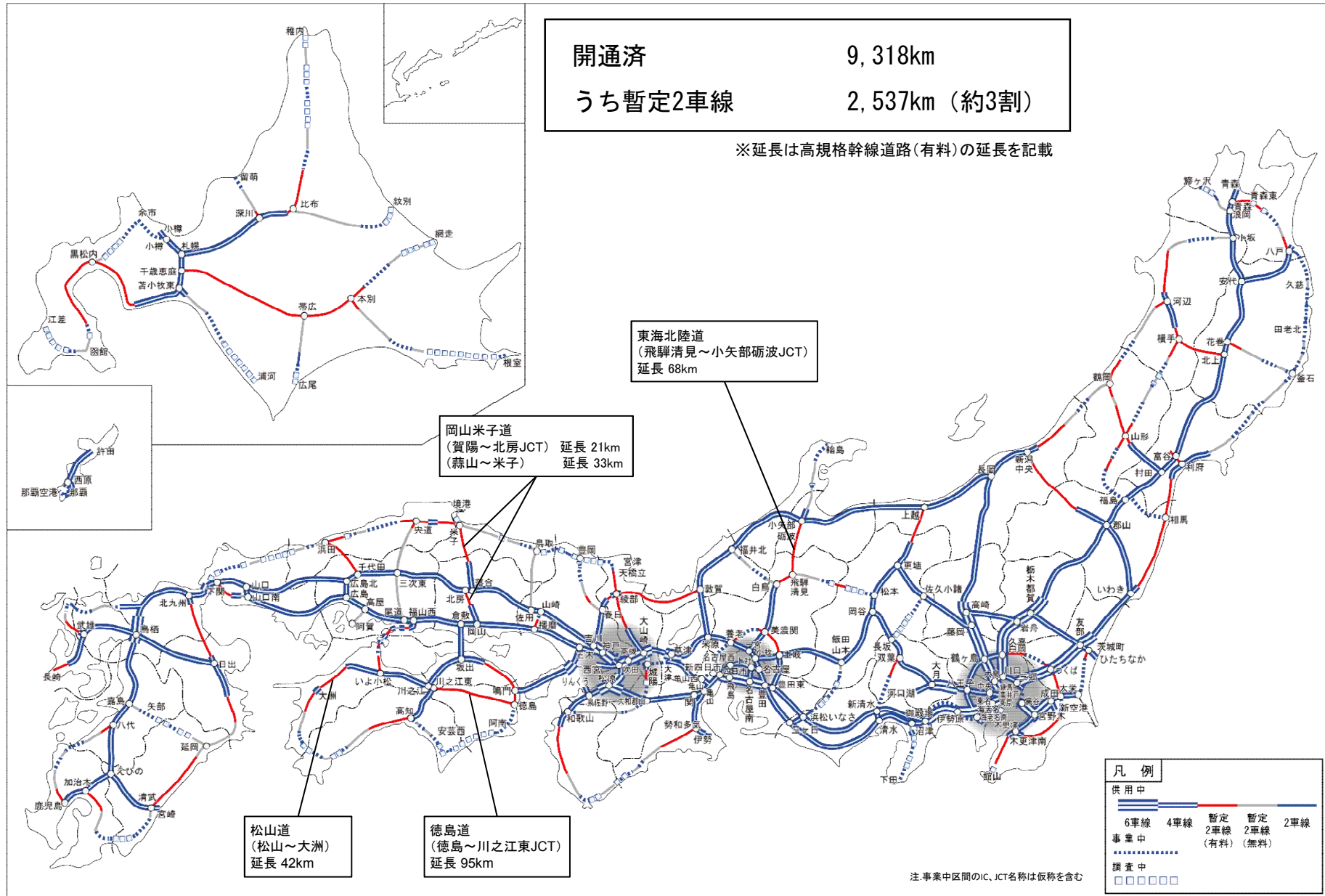
問い合わせ先：国土交通省

代表 TEL 03-5253-8111

道路局高速道路課 課長補佐 小島

（課直通） TEL 03-5253-8500、FAX 03-5253-1619

高速道路の暫定2車線区間の付加車線設置の検証路線



付加車線設置の検証路線の一覧

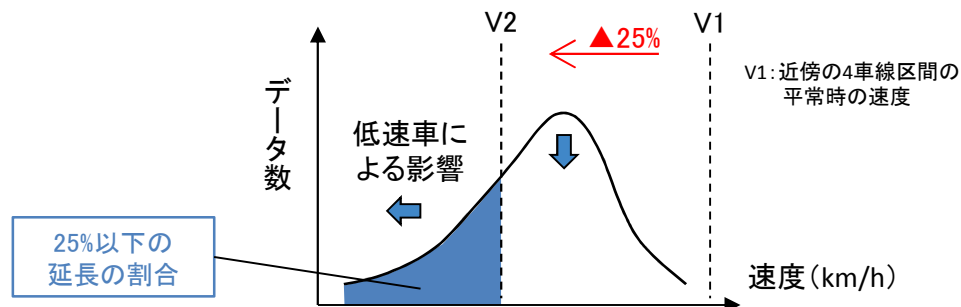
○利用交通量が一定以上ある路線を対象に、路線内の速度分布をETC2.0データで把握し、速度低下率が25%以下となる区間の多い路線を選定

※ 今後検討する積雪などの防災の影響など、幅広い観点で検証できるよう、留意。

路線名	区間	交通量※ (台/日)	速度低下率が25%より 大きい延長の割合			渋滞※ 回数
			下り	上り	合計	
松山道	松山IC～大洲IC	10,600 ～ 13,800	85%	90%	90%	16回
東海北陸道	飛騨清見IC ～小矢部砺波JCT	7,000 ～ 8,100	35%	60%	45%	7回
徳島道	徳島IC ～川之江東JCT	5,300 ～ 10,100	30%	55%	40%	7回
岡山米子道	賀陽IC～北房JCT 蒜山IC～米子IC	7,600 ～ 9,900	10%	55%	35%	22回

※ H25～H27の3年平均のデータ

<速度分布のイメージ>



暫定2車線区間の付加車線設置の検証について

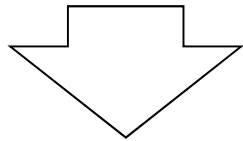
3月10日

社会資本整備審議会^(注)で選定基準(案)を議論

<選定基準(案)>

- 暫定2車線区間における速度が、近傍の4車線区間の平常時の速度に比べ、著しく低下(概ね▲25%)している箇所等を抽出

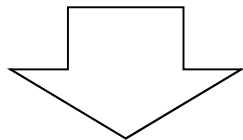
※積雪等防災の観点などの要素については、今後継続して検討
新直轄への適用についても今後確認



今回

シミュレーションによる試行箇所の選定(全国で数箇所)

- ・効果確認
- ・基準(案)の適宜見直し



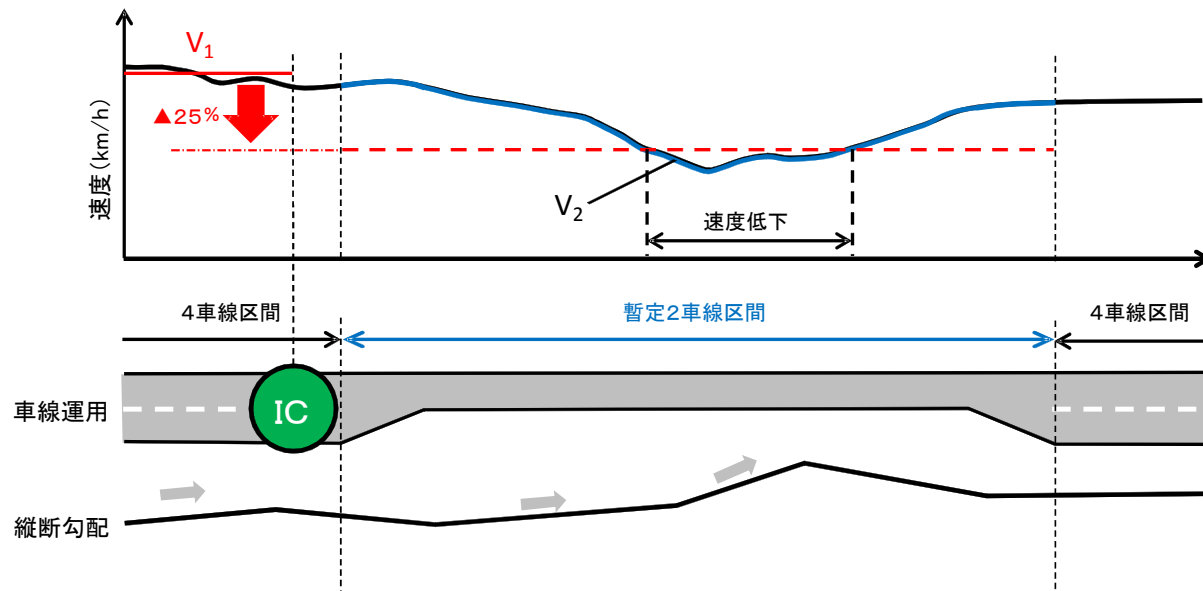
付加車線設置についての検討・設計・試行実施

注:社会資本整備審議会 道路分科会 事業評価部会

(参考) 暫定2車線区間の対策必要箇所を選定基準(案)

速度低下

暫定2車線区間における速度(V_2)が、近傍の4車線区間の平常時の速度(V_1)に比べ、著しく低下(概ね▲25%)している箇所を抽出



事故発生リスク

インターチェンジ等の分合流部での事故や反対車線側への飛び出し事故の状況を確認